

11月12日(月)～11月25日(日) 「女性に対する暴力をなくす運動」

配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されるものではありません。



パープルリボン展を開催します

日時 平成24年11月12日(月)～18日(日)
場所 ららぽーと三郷(ららぽーと新三郷内)
内容 パネル・パンフレットの展示、啓発品の配布など

男女(ひと)が働きやすい企業を表彰

三郷市では、だれもがいきいきと活躍できる「男女共同参画社会」を目指し、働きやすい職場づくりを積極的に行っている企業の表彰を実施しています。この表彰で、企業のよりよい職場づくりを応援しています。

平成23年度受賞企業 **マイスカイ交通株式会社 様**

女性相談(予約制)

開催: 毎月第1・2・3週の水曜日
会場: 市役所4階 女性相談室
予約・問い合わせ
048-930-7751 (総務課人権推進室)



県男女共同参画推進センター(withYouさいたま)に配偶者暴力相談支援センターを開設

●配偶者暴力相談支援センターの支援内容●

配偶者等からの暴力の相談をお受けします。
被害者のための支援制度や問題の解決に向けた情報をご案内します。
安全を確保するための相談に応じます。
被害者の心の健康回復や自立に役立つ各種事業を実施します。
保護命令制度の利用に関する情報提供や関係機関との調整を行います。
配偶者からの暴力の防止と被害者の援助に関するその他の業務を実施します。

WithYouさいたま(月～土 10:00～20:30)

電話: 048-600-3800

埼玉県配偶者暴力相談支援センター

DV相談室(月～土 9:30～20:30/日・祝 9:30～17:00)

電話: 048-863-6060

ひとりで悩まず、相談してください ※緊急時(身体的暴力)は、迷わず110番へ通報を!

編集後記

私たちも、3・11の震災がきっかけで「地域とのつながり」の大切さを強く感じるようになりました。「遠くの親戚より、近くの他人」といいます。すぐ近くに住んでいるひと同士がもっと気軽に交流できるまちづくりをすすめていきたいですね。(市民スタッフ)

● 情報紙「華」や男女共同参画事業について、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

企画編集/男女共同参画推進市民スタッフ(工藤・須藤・鳥山・永瀬・西脇・根岸・升井)

発行/三郷市役所 総務課人権推進室(電話)048-930-7751

ひとひと
女と男の情報紙

2012・10月発行

No. 39

華

はな

特集

地域と関わり
いきいき暮らそう



どんな人と出会うか。
どんな環境の中で生きていくか。
そうしたことで、人生はガラリと変わります。

地域の活動や、サークル活動などは
人とのかかわりの中で自分を見つめなおす良い機会となります。
人付き合いが苦手…という人も
いろいろな場に一步ふみだしてみると
元気で笑顔いっぱいの、いきいきとした毎日を送れるのではないのでしょうか。

これからも、世代を超えて交流することのできる「ほっとサロンいきいき」のような
みんなで励ましあえる素敵な仲間と出会える場所が増えるといいですね。

いきいきと生きがいをもって暮らせるまちにしよう

みさと団地交流サロン「ほっとサロンいきいき」が、平成24年3月26日に三郷団地中央商店街の一角にオープンしました。三郷市内でも高齢化率の高い三郷団地で高齢者支援ができる『地域の見守り拠点』であり、市民の交流の場である「ほっとサロンいきいき」はどんなところなのか。三郷市ふくし総合相談室の森さんにインタビューしました。

★開所の目的、背景は。

「三郷団地は市内でも高齢化率の高いところ。一人暮らしの高齢者の孤立化を防ぐため、相談にのれる場や見守りの拠点となる施設が必要だったことと、『みんなが気軽に立ち寄れる公共の場が欲しい』という三郷団地住民の声から、URの協力を受け、団地の空き店舗を利用して開設しました。」

★誰が利用できますか。

「どなたでもご利用いただけます。年齢制限もありません。支援の必要な人はここにきて元気になってもらい、元気な人にはボランティアになってほしいです。誰でも集まれる場でないと助け合い拠点の目的が達成できません。自然な交流の中で助け合いが生まれることを期待しています。」



市民スタッフが、三郷にお住まいのみなさんに、「地域との関わり方」をインタビューしてきました。そのうちのいくつかをご紹介します。

今までも団地の活動には積極的に参加してきました。現在、妊娠中です。これからは子供が保育園や幼稚園に行くので、いろいろな施設や相談にのって貰えるところがどこにあるのを知りたいです。

しばらくは、子育てでこもりがちになるので、いろいろ積極的に相談して不安をとりのぞきたいですね。(30代)



★運営は誰が行っているのですか。

「市の職員が3名。NPOの有償ボランティアが3名。その他ボランティア多数。市民が話し合い、使い方を決めてボランティアが中心になって運営しています。」

★開所から2ヶ月ですが、利用者は一日何人くらいですか。

「30人前後です。滞在時間は30分から1時間くらいの人が多いです。囲碁や将棋をする人、趣味の折り紙を折る人もいます。利用者は女性が多いので男性が入りやすい工夫も必要だと考えています。」

★たくさんの人に利用してもらうためのプログラムはありますか。

「月1回第2水曜日に、三愛会病院や健和団地診療所の協力を得て健康相談を実施しています。今後もプログラムの充実を考えていきます。」

★利用者に聞いてみました。

「市でボランティアをしているので、そのミーティングで利用をしています。雰囲気のいい所ですが、ここまで出てくることが難しい人をどうやって引っ張り出すかが課題。一人で入るには勇気がいる。サークル活動は北公民館や瑞沼市民センターで行っているので、ここには必要ないと思う。お茶と食事があり、気軽に立ち寄れるコミュニティレストランのような感じなら、たくさんの方が立ち寄れるのではないのでしょうか。」



マンション生活のため、なかなか地域の方との付き合いがなかったのです。70歳の時、ちょっと抵抗がありましたが(笑)思い切って老人会に参加しました。

今ではたくさんの知り合いもでき、地域の清掃活動やサークル活動、子供会のお世話など楽しみが増えました。今は夫と二人暮らしですが、近所の方との程よいお付き合いもでき、楽しく暮らしています。(80代)

子供が小さいときは地域の活動や子供会など積極的に参加しましたが、今はそれもなくなって「地域」とのかかわりが全然ない。高齢になったら考えるかな・・・(50代)

地域とはなんだろう。

自分の住む場所のこと？ そんな小さいくりなのではないか？ たまたま住んでいる場所だけが住みよければいいのか？

自分だけが良ければいい？ 何かあれば〇〇に頼ればいい？

遠くに起こった災害は関係ない・・・。

自分の足でしっかり立って準備し、困っている人に「お手伝い出来ることはありませんか？」と言えれば、地域という枠にとられなくてもいいのではないのでしょうか。(50代)

職場が他県。おまけに他市から転居。

定年を迎え、ついの棲家になるのでいつかは何かの役に立ちたいが、男性はなかなか積極的に地域に馴染むのはむずかしい。

サークルや趣味などの活動に取り組もうとは思いますが不安もある。(50代)



「地元で楽しく過ごせたらこれほど幸せなことはないのではないか」という思いから、現在イベントを企画しています。

私は、今でこそ地元への愛着がありますが、数年前まで持っていませんでした。愛着を持つ前と後では、幸せ感が全然違うというのが私の感覚です。

まちの人がまちへの愛着を持つようになるといいですね。



愛着が持てるようになると、今まで見えていなかったものが見えてくるようになります。そうすると、自然にそこ中で楽しいことが生まれ続けて、その結果、まちは活性化すると思います。そんな愛着が溢れ、ワクワクが溢れるまちにしていきたいです。(20代)

正直、地域との関わりは薄いです。

独身の頃は全く意識せず、子どもができたことで、公共施設や地域のお祭り、子どもイベントなどをチェックするようになったけれど、今も気心知れた友人たちと繋がっているだけです。地域と関わりたいと思っていますが、今は囲まれた世界が居心地よく、自分の環境を変えることは難しいと思います。(30代)



地域のことが急に気になってきた。定年になってから都会の職場を離れ、身近にある保育所や幼稚園に孫の送迎を時々するようになると、我が街の見方も変わってくる。公園がどこにあるとか、公園の名前は何か、安心できる遊び場はどこか。不思議なものである。孫に教わる我が街でもある。(60代)

三郷市に転居して間もない頃、近所の方に勧められ、親子で一緒に楽しめるサークル活動に参加したのが、地域との関わりで最初でした。同じような思いを持つ仲間との活動は心地よく、親子共々育てていただきました。また、我が子の成長とともに、市内、県内の様々な団体にも関わる機会を得て、魅力的な活動をされている方々から、たくさんのお話を学ばせていただきました。

今まで、他人任せになっていた自治会や自主防災会の活動も、ここ数年は意識的に関わるようになり、中心で担ってこられた方々の尽力に感謝せずにはいられません。特に、この度の大震災後、身近な地域での日常的な関わり大切さを実感いたしました。

同じ思いのサークル活動も、様々な人たちが共存するコミュニティ活動も、どちらも大切な地域との関わりであると思います。今後も、できる限りバランス良く関わっていきたいと思っています。(50代)



私の住んでいる地域には町会も自治会もありません。自分から求めていかない限りは横のつながりはありません。

子どもが小・中学校に通っている時は、学校を基点にPTAなどのつながりもあって、何の不自由も感じませんでしたが、そろそろ高齢者の仲間入りをする年齢になり、「これでいいのかな」と感じます。

私自身は地域の活動(アソシエーション)で忙しい日々ですが、あの3・11以降は「地域のコミュニティができていないといざという時困るな。どうしよう?」と考える今日この頃です。他人事ではいけないのは重々わかっているのですが・・・。(60代)



早稲田に住んで34年。地域の皆様に支えられ学習塾をしています。どの子もやれば出来るのです。みんな可能性の芽を持っています。これからも地域の子どもたちを応援していきます。(50代)



家の近くに畑を借りています。平日は、中々行けないのですが、休日は時として一日過ごす事もあります。地域を意識したのは3・11で、都内の仕事場から歩いて帰ってきた時でした。

まだまだ緑の多い三郷の自然を残したいと思っています。(50代)

